

平成22年度事業報告書

自：平成22年4月 1日

至：平成23年3月31日

1. 平成22年度の会員の異動

(1) 入会 1社

会 員 名	住 所
株式会社 フジチク	熊本県菊池郡菊陽町大字久保田727-1

(2) 脱退 2社

会 員 名	住 所
株式会社 ワールドケイズ	兵庫県宝塚市今里町24-11
太洋物産 株式会社	東京都渋谷区初台1-46-3 シモモトビル3階

(3) 会員数 49社 (平成23年3月末現在)

2. 平成22年度家畜輸入状況 (会員実績)

(1) 畜種別輸入頭数

畜 種 \ 年 度	平成22年度	平成21年度	平成20年度
馬	4,614	4,839	4,466
牛	13,845	15,556	19,933
豚	165	153	221
緬山羊・鹿	9	12	0
その他の大中動物	8	9	0
合 計	18,641	20,569	24,620

(2)用途別輸入頭数

畜種	種類・用途		平成22年度	平成21年度	平成20年度
馬	軽種馬	競走用繁殖	91	139	116
		競走用	104	107	140
	軽種馬計		195	246	256
	乗用馬		197	182	196
	重種馬		0	0	0
	肥育用素馬		4,222	4,411	4,011
	と場直行馬		0	0	0
	その他の馬		0	0	3
	馬合計		4,614	4,839	4,466
牛	血統登録牛	乳用牛	165	0	35
		肉用牛	0	0	0
	血統登録牛計		165	0	35
	その他の牛	乳用牛	681	648	921
		肉用牛	28	0	0
	その他の牛計		709	648	921
	肥育用素牛	共同輸送船	12,971	14,908	18,977
		上記以外	0	0	0
	肥育用素牛計		12,971	14,908	18,977
と場直行牛		0	0	0	
牛合計		13,845	15,556	19,933	
豚	繁殖用豚		165	153	221
	その他の豚		0	0	0
	豚合計		165	153	221
緬山羊・鹿	繁殖用		0	12	0
	その他の緬山羊・鹿		9	0	0
	緬山羊・鹿合計		9	12	0
上記以外の大動物			8	9	0
上記以外の中動物			0	0	0
上記以外の小動物			0	0	0
総合計			18,641	20,569	24,620

(注) 平成21年度：緬山羊・鹿は山羊、上記以外の大動物は水牛。
平成22年度：緬山羊・鹿は緬羊、上記以外の大動物は水牛。

(3) 家畜輸入の動向

① 年間収容計画の策定とその後の調整

協議会会員が輸入する家畜について、平成22年度においても動物検疫所との綿密な協議のもと年間収容計画を策定するとともに、その後の計画変更に対応して日々の調整を図り、係留施設の効率的利用と円滑な動物検疫の受検に努めた。年間収容計画策定に当たっては、輸入希望調査を実施し、従前どおり会員以外の一定輸入枠数を確保し、その残枠を会員利用枠として、必要な調整を行った。その結果、輸入希望総頭数は26,468頭であったが、時期別・場所別の係留シミュレーションを行った後、過去実績率による配分調整を経て、年度当初の計画頭数を24,302頭とした。

② 家畜輸入の状況

協議会会員の家畜輸入頭数は、平成15年度以降27,000頭を超える状況が続き、特に平成17年度及び18年度は32,000頭に迫る実績を示したが、その後平成20年度には6年ぶりに25,000頭を下回り、翌21年度は20,600頭となり、平成22年度は更に減少して、18,641頭（対前年比90.6%。以下、括弧内%は対前年比）であった。これは当初計画を約5,700頭下回るもので、消費及び畜産物相場の低迷等、景気と畜産情勢の影響を受けたものと考えられる。

畜種別に見ると、馬では競走用繁殖馬が91頭（65.5%）、競走用馬が104頭（97.2%）と減少したのに対し、乗用馬では197頭（108.0%）と増加した。一方、肥育用素馬の輸入頭数は、平成16年度以降5,000頭前後で推移しているが、平成22年度は4,222頭（95.7%）にとどまった。このため、馬全体では4,614頭（95.4%）とやや減少した。牛では、前年度実績がなかった血統登録牛（乳用牛）が165頭が輸入されたほか、その他の牛（血統登録牛以外の牛）が乳用牛681頭、肉用牛28頭の計709頭（109.4%）と増加した一方で、肥育用素牛（すべて共同輸送による豪州産）については、枝肉相場・消費の低迷等の影響もあり、12,971頭（87.0%）と減少した。このため、牛全体では13,845頭（89.0%）とかなり大きく減少した。また、豚では繁殖用豚が165頭（107.8%）とかなりの程度増加した。平成22年度は、このほかに、緬羊9頭、水牛8頭が輸入された。

③ 動物検疫の状況と水際検疫の強化

平成22年度中に動物検疫所における輸入検疫において、監視伝染病に感染もしくはその疑いがあるとして診断された疾病は、家畜伝染病の疑似患畜としてブルセラ病（牛）、アナプラズマ病（牛）及びヨーネ病（牛）、届出伝染病として馬ウイルス性動脈炎（馬）、馬パラチフス（馬）、馬インフルエンザ（馬）であった。

家畜輸出入に係る措置として、引き続きBSE発生国からの牛、緬羊・山羊等の輸入停止措置が続けられ、牛の実質的な輸出国は豪州、ニュージーランドに限定されている。

平成22年4月、我が国において10年ぶりに口蹄疫が発生し、急速な感染拡大に対応するため、我が国初の緊急ワクチン接種が行われた。ワクチン接種後の処分を含め約

29万頭の牛・豚が殺処分された。関係機関一丸となったまん延防止措置の結果、宮崎県以外への感染拡大は阻止され、7月の移動制限解除に続き、本年2月、国際的に清浄ステータスの回復が認定された。本病の発生に伴い、口蹄疫対策特別措置法が施行されるとともに、口蹄疫対策検証委員会の報告書や高病原性鳥インフルエンザの発生状況等を踏まえて、家畜伝染病予防法の一部が改正され、本年4月4日付けで公布及び一部施行された。

家禽では、昨年11月以降、全9県・24農場（平成23年4月20日現在）で高病原性鳥インフルエンザが確認されているが、殺処分、移動制限等のまん延防止対策の迅速実施により、散發的な発生にとどまっている。昨年11月に再発生した韓国の口蹄疫は本年4月3日付けで移動制限が解除されたが、4月17日にワクチン接種済み豚で発生が確認された。我が国への家畜伝染病の侵入防止のため、動物検疫所における入国者の靴底消毒・車両消毒、検疫探知犬による手荷物検査、空港等における注意喚起のためのアナウンス、厨芥残渣処理の再チェック等の水際検疫の強化が継続されている。

3. 会議等の開催状況

(1) 平成21年度通常総会・22年度臨時総会

次のとおり総会を開催し、原案について審議、承認、議決した。

開催場所	議決事項
第20回通常総会 平成22年5月28日 森永プラザビル 23階 A・B会議室 (東京都港区芝5-33-1)	第1号議案 平成21年度事業報告及び財務諸表について 第2号議案 平成22年度事業計画及び収支予算(案)について 第3号議案 定款の一部改正(案)について 第4号議案 任期満了に伴う役員の改選について 第5号議案 その他
臨時総会 平成22年7月13日 協議会 会議室	議 案 定款の一部変更
臨時総会 平成22年12月7日 協議会 会議室	議 案 理事の辞任に伴う役員の選任について

(2) 理事会

次のとおり理事会を開催し、協議会の業務運営に関する議案について審議、議決した。

開催月日及び場所	審議・議決事項
第1回理事会 平成22年4月28日 協議会 会議室	第1号議案 一般会費について 第2号議案 平成21年度通常総会の開催について 第3号議案 平成21年度事業報告・収支決算について 第4号議案 平成22年度事業計画・収支予算について 第5号議案 定款の一部改正(案)について 第6号議案 役員の一部改選について 第7号議案 協議会運営事項とその他
臨時理事会 平成22年7月1日 協議会 会議室	議 案 平成22年度臨時総会の開催について
第2回理事会 平成22年9月8日 協議会 会議室	第1号議案 平成23年度輸入家畜収容計画策定基本方針(案)について 第2号議案 新しい法人格への移行について 第3号議案 その他
第3回理事会 平成22年11月10日 協議会 会議室	第1号議案 平成22年度上半期中間報告について 第2号議案 平成23年度輸入家畜収容計画基本方針(案)について 第3号議案 新しい法人格への移行について 第4号議案 会員の異動について

開催月日及び場所	審 議 ・ 議 決 事 項
臨時理事会 平成22年11月26日 協議会 会議室	議 案 平成22年度臨時総会の開催について
4回理事会 平成23年3月25日 協議会 会議室	第1号議案 平成22年度家畜輸入状況について 第2号議案 平成22年度収支決算見通しについて 第3号議案 平成23年度輸入家畜収容計画について 第4号議案 公益事業引当預金の一部取崩し(案)について 第5号議案 平成23年度予算編成(案)について 第6号議案 協議会運営事項について

(3) 畜種別部会

次のとおり、協議会部会組織運営規程に基づく畜種別部会を開催し、家畜輸入に関する共同輸送計画、輸入希望頭数の調整を含む家畜輸入年度計画を策定し、会員の家畜輸出入業務の円滑な実施を図るとともに、動物検疫所の係留施設の効率的運用に協力した。

開催年月日	会 議 内 容
素牛部会（共同輸送グループ） 平成22年 5月 6日	議 題 1. 平成22年度家畜専用船スペース賃貸契約書について 2. その他
素牛正副部会長会議 平成22年11月 4日	議 題 1. 平成23年度素牛輸入計画（共同輸送）について 2. その他
素牛部会 平成22年11月 5日	議 題 1. 動物検疫状況について 2. 平成23年度素牛輸入計画（共同輸送）について 3. その他
素馬正副部会長会議 平成22年12月14日	議 題 1. 平成23年度素馬輸入計画（案）について 2. その他
素牛部会 平成22年12月17日	議 題 1. 平成23年度素牛輸入計画（共同輸送）について 2. その他
素馬部会 平成23年 1月 7日	議 題 1. 動物検疫状況について 2. 平成23年度素馬輸入計画（案）について 3. その他
牛正副部会長会議 平成23年 1月14日	議 題 1. 平成23年度牛輸入計画について 2. その他

開催年月日	会議内容
牛部会 平成23年 1月14日	議 題 1. 動物検疫状況について 2. 平成23年度牛輸入計画について 3. その他
馬部会 平成23年 2月 9日	議 題 1. 動物検疫状況について 2. 平成23年度家畜収容計画（案）について 3. その他
豚部会 平成23年 2月16日	議 題 1. 動物検疫状況について 2. 平成23年度豚輸入計画（案）について 3. その他

(4) 家畜輸出入に関するセミナー

次のとおり、セミナーを開催し、会員の畜産及び家畜衛生・公衆衛生に対する知識の向上と家畜輸出入の円滑化を図るとともに、会員以外に対するこれらの普及啓発に努めた。講演内容（抄録）はセミナー資料として印刷配布するとともに、協議会ウェブサイトで公開している。

開催年月日	演 題
家畜輸出入に関するセミナー 平成23年3月10日 森永プラザビル 23階 A・B会議室	<ol style="list-style-type: none"> 1. 国内外における家畜伝染病の発生状況と水際検疫の強化 講師：農林水産省消費・安全局動物衛生課 課長補佐 高橋 周子 氏 2. アニマルウェルフェアの考え方に対応した家畜の飼養管理指針 講師：農林水産生産局畜産部畜産振興課 課長補佐 菅谷 公平 氏 3. 最近の国際化の動きと我が国の畜産について 講師：東京大学大学院農学生命科学研究科 教 授 鈴木 宣弘 氏

(5) その他の会議（協議会運営会議）

次のとおり、協議会運営会議を開催し、意見交換を行った。

開催年月日	会議内容
協議会運営会議 平成22年4月15日 協議会 会議室	議題 1. 一般会費について 2. 公益法人認定に向けた取り組みについて

4. その他の主な事業と輸出入検疫関連事項

(1) 定款の一部変更

協議会の執行体制の見直し並びに会員数の減少に伴い、協議会定款の一部変更を行った（平成22年8月5日農林水産大臣認可）。変更の内容は次のとおりである。①理事数の変更（7人以上15人以内）、②副理事長数の変更及び職務の明確化（1人以上2人以内）、③専務理事と常務理事の職務の一体化（常務理事の削除）、④関係法令の整備による規程の見直し。

(2) 家畜輸出入に関する情報の周知等

平成22年度中に農林水産省関係部局、動物検疫所、独立行政法人家畜改良センター等から発出された家畜の輸出入に関連する通知・事務連絡のほか、協議会として必要なその他の畜産関連情報、動物検疫所等からの協力依頼事項等について、会員へ周知を図るとともに、関係機関との輸出入検疫に係る意見交換・要望を行った。

また、宮崎県における口蹄疫の発生に際しては、本病発生状況及び防疫状況に関する情報収集と提供、移動制限及び搬出制限区域の設定に伴う輸入家畜仕向先の変更に係る調整、偶蹄類動物輸入計画のスケジュール変更に係る関係機関との協議・調整、宮崎県口蹄疫対策本部への寄付金拠出を行った。

(3) 動物検疫所検査手続電算処理システムの利用推進

動物検疫所検査手続電算処理システム（ANIPAS）が平成20年10月12日から、新システム（第3期ANIPAS）に更改された。新システムはインターネットを介しての事前届出や検査申請等の家畜輸入手続きが可能となり、利便性が画期的に向上した。協議会としては事前説明会への参加、システム利用の啓蒙等、利用推進に努めており、平成23年3月現在、会員のシステム利用率は100%となっている。

(4) WEBサイトの充実強化

協議会ではWEBサイト「JLTA Online」上で、家畜の輸出入に係る家畜衛生条件の公開、輸出入検疫手続きに必要な各種様式のダウンロードサービスのほか、会員専用ページを設けて輸入頭数速報等の情報提供を行ってきているが、平成22年度においては、動物検疫所の新電算処理システムのQ&Aを更新するとともに、家畜輸出入に関するセミナーへの一般公募及び講演内容の公開、改正家畜衛生条件の改正部分の明示化の試行など、サイトの一層の充実強化を図った。

(5) 動物検疫所の畜霊祭行事への参加

輸入検疫の結果、家畜の伝染性疾病に罹患もしくは罹患のおそれがあるものとして淘汰された家畜並びに輸送中や係留中の事故等により死亡した動物の霊を慰めるために、動物検疫所各係留施設では畜霊祭が挙行されているが、平成22年度は、このうち全国7カ所の本行事に参列した。

(6) 新しい法人格への移行に向けた取り組み

新公益法人制度の施行に伴い、平成20年12月1日から同25年11月30日まで間にすべての特例民法法人は新しい法人格へ移行するか解散することとされた。協議会では前年度に引き続き、新しい法人格への認定・認可のための取り組みを行ってきたが、内閣府公益認定等委員会事務局における窓口相談等の経緯を踏まえ、一般社団法人（非営利型）への認可申請を行うこととして準備を進めている。

(7) 動物検疫所羽田空港支所の設置と家畜の輸入見込み

平成22年10月1日、動物検疫所羽田空港支所が開設された（羽田空港出張所から支所への格上げ）。同支所は、家畜が輸入できる動物検疫上の指定港（係留場所は横浜本所）であるが、到着便の時間帯、スポット確保等の理由から、当面、生体家畜の輸入見通しはないものと考えられている。

(8) 改正家畜伝染病予防法の主要内容（参考）

本年4月4日付けで公布された改正家畜伝染病予防法は、口蹄疫や高病原性鳥インフルエンザの発生状況等を踏まえて、家畜伝染病の発生の予防、早期の通報、迅速な初動等に重点を置いて家畜防疫体制の強化を図るために改正されたもので、次の事項を主要内容としている。このうち、③については、入国者や航空会社等に対する動物検疫所の権限の強化が内容となっている。

①国と都道府県等との役割分担の在り方、②防疫指針の在り方、③我が国へのウイルス侵入防止措置の在り方、④畜産農家のウイルス侵入防止措置の在り方、⑤発生時に備えた準備の在り方、⑥患畜の早期の発見・通報の在り方、⑦国の財政支援の在り方、⑧消毒設備の設置場所を通行する車両の消毒等、⑨患畜及び疑似患畜以外の家畜の殺処分等、⑩防疫の観点からの畜産の在り方、⑪その他。

5. 平成22年度に発出された家畜の輸出入関連通知

(平成22年4月1日～平成23年3月31日接受分)

- (1) 平成22年 4月 5日 - 22動検第1198号 農林水産省動物検疫所長
件名 「輸入検査における馬伝染性子宮炎の検査について」
- (2) 平成22年 4月26日 - 22消安第563号 農林水産省消費・安全局長
件名 「宮崎県における口蹄疫の疑似患畜の確認に係る防疫対策の徹底等について」
- (3) 平成22年 4月27日 - 22総合第123号 農林水産省総合食料局長
22生畜第278号 農林水産省生産局長
22経営第378号 農林水産省経営局長
件名 「口蹄疫の疑似患畜の確認により出荷等に影響を受ける畜産農家等への資金の円滑な融資及び既貸付金の償還猶予等について」
- (4) 平成22年 5月 7日 - 22消安第1107号 農林水産省消費・安全局長
件名 「宮崎県における口蹄疫の疑似患畜の確認に係る防疫対策の再徹底等について」
- (5) 平成22年 6月 8日 - 22消安第1989号 農林水産省消費・安全局長
件名 「口蹄疫対策特別措置法について」
- (6) 平成22年 6月14日 - 22動検第241号 農林水産省動物検疫所長
件名 「カナダから日本向けに輸出される牛精液の家畜衛生条件及び当該精液に添付される検査証明書について」
- (7) 平成22年 6月14日 - 22動検第232号 農林水産省動物検疫所長
件名 「英国から日本向けに輸出される国際交流競走出走馬に添付される輸出検査証明書の改正について」
- (8) 平成22年 6月30日 - 22消安第2898号 農林水産省消費・安全局長
件名 「口蹄疫防疫措置実施マニュアルの作成について」
- (9) 平成22年 8月 5日 - 22生畜第770号 農林水産省生産局長
件名 「牛及び豚のうち純粋種の繁殖用のもの並びに無税を適用する馬の証明書の発給等に関する事務取扱要領の一部改正について」
- (10) 平成22年 8月31日 - 22動検第476号 農林水産省動物検疫所長
件名 「スウェーデンから日本向けに輸出される豚に添付される証明書様式について」

- (11) 平成22年 9月15日 - 22動検第515号 農林水産省動物検疫所長
件名 「日本から豪州向けに一時的に輸出される馬の家畜衛生条件及び証明書様式について」
- (12) 平成22年 9月15日 - 22動検第514号 農林水産省動物検疫所長
件名 「デンマークから日本向けに輸出される豚の家畜衛生条件の改正及び当該豚に添付される検査証明書の様式について」
- (13) 平成22年10月 6日 - 22動検第592号 農林水産省動物検疫所長
件名 「国際交流競走出走馬の輸入検疫要領の一部改正について」
- (14) 平成22年10月 6日 - 22動検第589号 農林水産省動物検疫所長
件名 「動物の輸出検査場所指定要領の一部改正について」
- (15) 平成22年10月19日 - 22動検第652号 農林水産省動物検疫所長
件名 「米国ケンタッキーホースパークで開催される世界馬術選手権大会出場後、同国から日本向けに輸出される馬の家畜衛生条件について」
- (16) 平成22年11月 1日 - 22動検第736号 農林水産省動物検疫所長
件名 「第16回アジア大会馬術競技に参加し帰国する馬の衛生条件について」
- (17) 平成22年12月 1日 - 22消安第7123号 農林水産省消費・安全局
動物衛生課長
件名 「韓国における口蹄疫の発生について」
- (18) 平成22年12月 8日 - 22消安第7279号 農林水産省消費・安全局
動物衛生課長
件名 「韓国における口蹄疫の発生に係る情報等の周知状況の確認及び家きん飼養農場への飼養衛生基準の指導について」
- (19) 平成22年12月24日 - 22消安第7709号 農林水産省消費・安全局
動物衛生課長
件名 「年末・年始における口蹄疫や高病原性鳥インフルエンザ等の侵入防止の徹底及び各都道府県における連絡・防疫対応等の体制の再確認について」
- (20) 平成22年12月27日 - 22消安第7732号 農林水産省消費・安全局
動物衛生課長
件名 「韓国及び台湾における口蹄疫の続発について」

- (21) 平成23年 1月20日 - 22動検第1006号 農林水産省動物検疫所長
件名 「ニュージーランドから日本向けに輸出される国際交流競走出走馬の家畜衛生条件の一部改正について」
- (22) 平成23年 1月24日 - 22動検第1043号 農林水産省動物検疫所長
件名 「アイルランドから日本向けに輸出される豚の家畜衛生条件の一部改正について」
- (23) 平成23年 1月27日 - 22消安第8291号 農林水産省消費・安全局長
動物衛生課長
件名 「韓国における口蹄疫の発生拡大に伴う防疫対策の強化について」
- (24) 平成23年 2月10日 - 22消安第8662号 農林水産省消費・安全局長
件名 「口蹄疫清浄ステータスの回復について」
- (25) 平成23年 2月10日 - 22消安第8678号 農林水産省消費・安全局長
件名 「韓国釜山広域市における口蹄疫の発生に伴う畜産関係者等への指導の再徹底について」
- (26) 平成23年 2月17日 - 22消安第8947号 農林水産省消費・安全局長
件名 「高病原性鳥インフルエンザの発生に伴う飼養衛生管理の指導・徹底及び口蹄疫に対する防疫対策の強化について」
- (27) 平成23年 2月25日 - 22動検第1138号 農林水産省動物検疫所長
件名 「ベルギーから日本向けに輸出される馬の家畜衛生条件の一部改正について」